

科目名	ヌーベルシャポーⅡ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山本美千代

【科目の到達目標】

1年間で学んだ帽子の基本形にポリ芯での帽子をプラスし、パターンから裁断、縫製、仕上げまでを自ら製作し、技術を習得する。コラボ企画などではトータルでさらにデザイン性の高いレザーの帽子や平面を立体におこすなど物作りに努め帽子業界で通用する人材を育成する。

【科目の概要】

不景気と言われる昨今、売れている商品はシンプルで被りやすく、コーディネートしやすい帽子のため、授業では、基本の型をパターンから裁断、縫製、仕上げまで自ら製作することで技術を習得しする。習得した技術を用いて、デザイン性のある物まで対応できるようにする。

【授業計画】

90分/コマ

前期

1・2	ブレタ作品製作 パターン	31・32	パターン修正
3・4	トワール製作	33・34	↓ 縫製
5・6	縫製	35・36	たつの作品 製作② パターン
7・8	パターン修正	37・38	トワール製作
9・10	縫製	39・40	縫製 テスト
11・12	↓ 縫製	41・42	縫製
13・14	ハンチング 製作 パターン	43・44	↓ パターン修正
15・16	トワール製作	45・46	型出し練習
17・18	縫製	47・48	↓
19・20	パターン修正	49・50	↓
21・22	縫製	51・52	オリジナル作品
23・24	↓ 縫製	53・54	トワール製作
25・26	たつの作品 製作① パターン	55・56	パターン修正 縫製
27・28	トワール製作	57・58	↓ 縫製
29・30	↓ 縫製 テスト	59・60	テスト 復習

【成績評価方法】

課題作品 前期3点後期3点の評価60% テスト 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

各種ミシン(本縫い・二本針・腕) 縫製用具(押え各種など) アイロン 割台 製図用具一式 生地 芯地 その他

科目名	帽子制作&造花制作Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	西井 亜由美

【科目の到達目標】

帽子制作&造花制作Ⅰにて習得した基本技術をもとに、変化のあるオリジナルデザインへの応用力を習得する。造花においては、染色から組み立てまでのバランス感覚を養う。

【科目の概要】

近年、ファッション分野のみならずマルチスキルな人材が求められる。帽子制作&造花制作Ⅱではオリジナルデザインのクリエイティブな作品制作と既製品を想定した商品制作を通じてこれを身に付ける。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	造花① <アネモネ> カット・染色 夏帽体選 シゾール、麻ケンマ等	31・32 帽子③ <上田コレクションショー作品> ブリム形成・スチーム・アレンジ
3・4	帽子① <プレタポルテ展作品> デザイン・クラウン型入れ・アレン	33・34 帽子③ <上田コレクションショー作品> トリミング・アレンジ
5・6	帽子① <プレタポルテ展作品> ブリム形成・スチーム・アプレ	35・36 帽子③ <上田コレクションショー作品> アレンジ・仕上げ
7・8	帽子① <プレタポルテ展作品> トリミング・アレンジ	37・38 帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ> デザイン・クラウン形成
9・10	帽子① <プレタポルテ展作品> 仕上 造花① <アネモネ> コテ当て・まとめ	39・40 帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ> クラウン形成・アレンジ
11・12	帽子② <カクテルハット> デザイン・芯形成	41・42 帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ> ブリム形成・アレンジ
13・14	帽子② <カクテルハット> 羽根見積もり・羽根染色	43・44 帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ> トリミング・仕上げ
15・16	帽子② <カクテルハット> 羽根付け	45・46 帽子⑤<冬帽体>オリジナルブランド作品 デザイン・クラウン形成
17・18	帽子② <カクテルハット> まとめ・仕上げ	47・48 帽子⑤<冬帽体>オリジナルブランド作品 クラウン形成・アレンジ
19・20	造花② <銀ゴースの薔薇> カット・染色	49・50 帽子⑤<冬帽体>オリジナルブランド作品 ブリム形成・アレンジ
21・22	造花② <銀ゴースの薔薇> 組み立て・コテ当て	51・52 帽子⑤<冬帽体>オリジナルブランド作品 トリミング・仕上げ
23・24	造花② <銀ゴースの薔薇> まとめ	53・54 造花③ <オリジナル作品> デザイン・見積もり・サンプル
25・26	造花② <銀ゴースの薔薇> 仕上げ	55・56 造花③ <オリジナル作品> 花カット・染色・コテ当て
27・28	帽子③ <上田コレクションショー作品> デザイン・素材選	57・58 造花③ <オリジナル作品> まとめ・仕上げ
29・30	帽子③ <上田コレクションショー作品> クラウン型入れ・アレンジ	59・60 <修了テスト>

【成績評価方法】

課題作品(デザイン・構成・テクニック・色彩感覚・全体の完成度)
課題作品の評価60%、修了テスト・小テスト30%、平常点10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

デザインの参考には各種ファッション誌、花の写真。技術面はプリントを配布する。
サロン・ド・シャポー学院『新版 造花の作り方』

【教材・教具】

裁縫道具・クラウン木型・ブリム木型・エッグアイロン・造花コテ各種

科目名	バッグ制作Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

バッグの技術・専門知識を習得し、さらに自分のオリジナルデザインを形にできるようになる。
ファッション雑貨としてのバッグの役割を理解し、カジュアル・フォーマルにも対応できるバッグ制作技術修得を目指す。

【科目の概要】

トレンド分析、ターゲット分析を元に、各自のデザインしたバッグを制作する
玉縁や、ガマロのバッグなど、現代のファッションバッグ制作に欠かせない技法を学び、制作の幅を広げる

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	プレタ作品	裁断・漉き	31・32 胴・持ち手縫製
3・4		裏地裁断・ポケット制作	33・34 まとめ
5・6		芯カット・芯貼り	35・36 ↓ 仕上げ・テスト
7・8		裏地縫製	37・38 パターン演習 ハンドルの種類
9・10		胴・持ち手縫製	39・40 ガマロのバッグ パターン
11・12		コバ処理	41・42 ↓ 縫製
13・14	↓	仕上げ	43・44 ↓ まとめ
15・16	プレタ振り返り	ターゲット分析	45・46 卒業式用バッグ 型紙
17・18	レザー分類	校外授業	47・48 表地型紙制作
19・20	パターン演習	ポケットの種類	49・50 裏地型制作
21・22	たつの祭り用バッグ		51・52 裁断・漉き
23・24	(玉縁のついたバッグ)		53・54 裏地裁断・ポケット制作
25・26	表胴型紙		55・56 マチ部分縫製
27・28	裏 型紙		57・58 胴・持ち手縫製
29・30	裏地縫製		59・60 ↓ 仕上げ・テスト
	↓	テスト	

【成績評価方法】

提出物の評価 60% 期末テスト30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	ファッションデザイン&雑貨プランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 20% 実習80%
時間数	60	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析しオリジナル企画を立案する。
分析力・発想力・表現力・計画性を身につける。

【科目の概要】

一年次に学んだファッションの基礎知識をもとに、マーケティングの基本原理に情報をプラスして、自己のオリジナル企画を立案する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション 企画ミーティング	1	企画製作
2	プレタポルテ展のデザイン	2	企画製作
3	プレタポルテ展のデザイン	3	企画製作
4	外部コンテスト	4	ファッション雑貨研究
5	外部コンテスト	5	ファッション雑貨研究
6	外部コンテスト	6	ファッション雑貨研究
7	企画書製作	7	ファッション雑貨研究
8	企画書製作	8	ファッション雑貨研究
9	企画製作	9	ファッション雑貨研究
10	企画製作	10	ファッション雑貨研究
11	企画製作	11	ファッション雑貨研究
12	企画製作	12	ファッション雑貨研究
13	企画製作	13	発表
14	テスト	14	テスト
15	まとめ	15	まとめ

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%課題作品の評価60%理解力(テスト)30%

【教科書・参考書】

「ファッションマーケティング」ファッション教育社

【教材・教具】

ファッション雑誌・マップ製作に必要な用具・ノート・着色用具 他

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

1年生で習得した技術をさらに深め、洗練されたプレゼンテーションを目指す。
就職・将来の実務のための、作品プロモーションを行うためのコンピュータ技術を習得する。

【科目の概要】

自分の作品をプロモーションするためのポートフォリオ・企画書を制作する。
また学内・学外イベントに実際に使用するためのグラフィック・アプリケーションを制作する。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	授業ガイダンス・1年生の復習 マップ制作・プレゼンテーション	16	企画ボード制作実習 たつの祭り・上コレ ブランド企画掲示物
2	プロモーションシート(2作品分) 名刺・ネームプレート・作品プロモーションファイル	17	プレゼンテーション実習 PowerPoint
3	プレタ展 展示物制作	18	
4	Adobe Photoshopデザイン画制作実習 コンテスト応募作品	19	コンピュータによるデザインワーク実習 グラフィック・パターン制作 作品名刺作成
5		20	
6		21	
7		22	
8	企画ボード制作実習 たつの祭り・上コレブランド企画掲示物	23	ポートフォリオ制作 上田学園コレクション展示用
9		24	
10		25	
11	Adobe Photoshopデザイン画制作実習 コンテスト応募作品	26	作品まとめ Excel
12		27	
13		28	
14	テスト	29	テスト
15	前期授業まとめ	30	授業まとめ

【成績評価方法】

課題点 60% テスト 30% 平常点(授業態度) 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン ・USBメモリー ・A4ファイル ・作品

科目名	アクセサリⅡ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	柿迫恒儀

【科目の到達目標】

アパレル業界内の「アクセサリ/小物」と呼ばれるカテゴリーでの商品作製に必要な技術の習得
 貴金属アクセサリや小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。
 様々なマテリアルを理解し、幅広くアイテムを造り出す事の出来る、オリジナリティーのある人材の育成を目指す。

【科目の概要】

時代的にアウター類や高額な物が動き難い中、小物類は重要な役割を占めるアイテムとなっています。
 しかしファッションに特化した小物制作を出来る人材はあまり多いとは言えません。そこで様々なマテリアルを触り
 各アイテムによる制作行程の理解やデザイン展開をする授業。アクセサリや革小物等 幅広い実物作品を制作する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 色違い又はトップデザイン違いのリングorネックレスベース量産 ～ 素材選び、デザイン
- 3・4 色違い又はトップデザイン違いのリングorネックレスベース量産 ～ 原型加工
- 5・6 色違い又はトップデザイン違いのリングorネックレスベース量産 ～ 原型加工、
ゴム型製作 鋳造準備
- 7・8 色違い又はトップデザイン違いのリングorネックレスベース量産 ～ 鋳造
- 9・10 色違い又はトップデザイン違いのリングorネックレスベース量産 ～ 石留め 仕上げ
- 11・12 ブローチ又はラペルピン制作 ～ デザイン、制図（プレタポルテ展用）
- 13・14 ブローチ又はラペルピン制作 ～ 成形、加工
- 15・16 ブローチ又はラペルピン制作 ～ 成形、加工
- 17・18 ブローチ又はラペルピン制作 ～ 金具取り付け 仕上げ
- 19・20 異素材を使用したアクセサリの制作 ～ 裁断、縫製
- 21・22 異素材を使用したアクセサリの制作 ～ 裁断、縫製
- 23・24 異素材を使用したアクセサリの制作 ～ 金具、成形
- 25・26 異素材を使用したアクセサリの制作 ～ 金具、成形
- 27・28 異素材を使用したアクセサリの制作 ～ 組み立て、仕上げ
- 29・30 テスト・まとめ
- 31・32 リンクブレスマスターピース制作 ～原型製作
- 33・34 リンクブレスマスターピース制作 ～石膏埋没
- 35・36 シルバーチェーン制作 ～線加工
- 37・38 シルバーチェーン制作 ～ロー付け、曲げ加工
- 39・40 シルバーチェーン制作 ～組み立て、仕上げ
- 41・42 リンクブレス制作 ～キャスト作業(WAX注入)
- 43・44 リンクブレス制作 ～キャスト作業(ツリー製作)
- 45・46 リンクブレス制作 ～キャスト作業(石膏埋没)
- 47・48 リンクブレス制作 ～キャスト作業(鋳造)
- 49・50 リンクブレス制作 ～組み立て
- 51・52 リンクブレス制作 ～仕上げ
- 53・54 カレッジリング制作 ～制図
- 55・56 カレッジリング制作 ～成形、加工
- 57・58 カレッジリング制作 ～仕上げ
- 59・60 テスト・まとめ

【成績評価方法】

作品(技術、デザイン、完成度)50% 試験30%
 平常点(課題全提出、締め切り期日の厳守、授業態度)20%

【教科書・参考書】

配布プリント(制作工程プリント)
 実物見本 サンプル見本

【教材・教具】

バーナー、ローラー等制作機器、彫金工具一式
 ミシン、革縁漉き機、革物工具等

科目名	商品研究 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

研究を通して市場の現状を理解し、商品の新たな需要や価値を創造し提案できる

【科目の概要】

マーケットリサーチ 企業見学 工場見学 コラボ商品や海外展示販売などの製作・提案を行う

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	Revolver製作①	1・2 たつの製作①
3・4	Revolver製作②	3・4 たつの製作②
5・6	Revolver製作③	5・6 たつの製作③
7・8	Revolver製作④	7・8 アパレルから学ぶ企画 I ブランドとシーズンコンセプト
9・10	Revolver製作⑤	9・10 アパレルから学ぶ企画 I リサーチと分析
11・12	Revolver製作⑥	11・12 アパレルから学ぶ企画 I 商品構成 1
13・14	市場から考える商品企画①	13・14 アパレルから学ぶ企画 I 商品構成 2
15・16	市場から考える商品企画②	15・16 アパレルから学ぶ企画 I 価格設定 I 価格の内訳
17・18	市場から考える商品企画③	17・18 アパレルから学ぶ企画 I 価格設定 II 原価計算①
19・20	コラボ商品企画①	19・20 アパレルから学ぶ企画 I 価格設定 II 原価計算②
21・22	コラボ商品企画②	21・22 アパレルから学ぶ企画 I 価格設定 III 予算の組み立てと設定
23・24	コラボ商品企画③	23・24 アパレルから学ぶ企画 I VMD
25・26	コラボ商品企画④	25・26 アパレルから学ぶ企画 I 販売促進・顧客情報
27・28	まとめ	27・28 まとめ
29・30	テスト	29・30 テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 課題作品60% 理解力30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッション雑貨デザイン&制作	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・市場におけるファッション雑貨の位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、販売までの提案ができる人材の育成を目指す

【科目の概要】

・デザイン力の発想、表現、具体化、発表を通し、市場に合った企画提案できる人材を目指す。

90分/コマ

後期

- 1・2 コラボ商品製作:ミーティング
- 3・4 コラボ商品提案
- 5・6 コラボ商品製作
- 7・8 コラボ商品製作
- 9・10 定点観測 レポート・デザイン画作成
- 11・12 デザイン画作成 発表
- 13・14 アート・建築物 からのデザイン発想
- 15・16 デザイン画作成 発表
- 17・18 ブランドリサーチからのデザイン展開
(ファッション雑貨ブランド)
- 19・20 デザイン画作成
- 21・22 ブランドリサーチからのデザイン展開:
(帽子・バッグ・アクセより選択)
- 23・24 デザイン画作成
(ファッション雑貨ブランド)
- 25・26 梅春企画展開 リサーチ
- 27・28 梅春企画展開 デザイン
- 29・30 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	14	作成者	衣笠節子

【科目の到達目標】

- ・ビジネスマナーを習得し、職業人として必要なコミュニケーション能力について学習する。
- ・企業が求めている即戦力および人間力を身につけ、就職活動に役立てる。

【科目の概要】

- ・ビジネス社会では、業務についての知識だけでなく礼儀やコミュニケーション能力が求められている。本科目では人前で話す訓練をし、思っていることを相手に伝える言葉の表現力を習得する。
- ・基本的なビジネスマナーが「わかる」だけでなく、実技を通して「できる」レベルになる。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 関係作りの第一歩 「自己紹介の目的とコツ」
- 2 好感度をアップする 「身だしなみと立ち居振る舞い」
- 3 言葉づかいのマナー 「敬語の種類・対応の基本用語」
- 4 表現技術 「プレゼンテーションの基本」
- 5 ビジネス社会での基本マナー 「訪問のマナー・応接室でのルール」
- 6 ビジネス文書のマナー 「社交文書・メール文書」
- 7 まとめ 「修業テスト」

【成績評価方法】

- ・提出課題・スピーチの評価60%・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%
- 以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

田野直美『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】

科目名	フォトデザイン	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	14	作成者	田中 一泉

【科目の到達目標】

自分が何を表現したくて雑貨を作ったのか理解し、その特徴を写真に写すことができる。

【科目の概要】

デジタルカメラ技術の発達、またコンピューターの発達により簡単に写真を撮れるようになった。しかしカメラが良くなっても、写す側の意図をハッキリさせなければ何が写っているのか見ている側がわからない。本科目では写真とはメッセージであることを理解し、メッセージを伝える為の最低限の技術習得を目指す。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 写真の見方、スクラップブックの作成(座学)
- 2 光、構図、色彩 この3点が良い他人の作例を数点提示し生徒に解説してもらう(座学)
- 3 スタジオ機材説明/スタジオ撮影(実習)
- 4 スタジオ撮影(実習)
- 5 スタジオ撮影(実習)
- 6 スタジオ課題 プリント合評 最終回の課題発表
- 7 課題プリント合評 総まとめ

【成績評価方法】

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

プロジェクター
スタジオ撮影機材

科目名	デザイン史&概論		
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	2	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

現在のファッションを成立させてきた西洋文化の歴史的背景やデザインの動向を解説し、ファッションデザインの意味を多様な視点で読み解く基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾文化は、西洋社会の文化的な背景と密接に関わりながら変化し、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、西洋の美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながら、ファッションを文化的な現象として体系的にとらえる。

【授業計画】

- 90分/コマ
- 1 授業指針説明
01 ゴシック 02 ルネサンス 03 グーテンベルグ 04 バロック 05 ロココ
 - 2 06 アーツ&クラフツ 07 ジャポニズム 08 ベル・エポック 09 アール・ヌーヴォー
 - 3 10 ユーゲント・シュティール 11 ウイーン工房 12 ドイツ工作連盟 13 キュビズム
 - 4 14 未来派 15 ロシア・アヴァンギャルド 16 ダダイズム 17 モダニズム
 - 5 18 デ・スティール 19 バウハウス 20 アール・デコ 22 インダストリアルデザイン (小テスト)
 - 6 23 インターナショナル・スタイル 24 ミッドセンチュリー 27 CIデザイン 28 スイス・スタイル
 - 7 21 アイソタイプ 25 オーガニックデザイン 26 プロバガンダ 29 オプ・アート
 - 8 30 スカンジナビアン・モダン 31 ウルム造形大学 32 ミニマリズム 33 スペースエイジ
 - 9 34 ブリコラージュ 35 サイケデリック 36 アーキグラム 37 東京オリンピック1964
 - 9 38 ヒプノシス 39 スーパーリアリズム 41 ポストモダニズム 45 メンフィス (小テスト)
 - 10 42 ノーデザイン 43 ユニバーサルデザイン 44 アフォーダンス 46 サステナビリティ
 - 11 47 エコデザイン 48 トマト 49 ドローグ(アノニマス) 50 クリエイティブ・コモンズ
 - 12 51 UI/UXデザイン 52 ソーシャルデザイン 53 コミュニティデザイン 54 インタラクシオンデザイン
 - 13 55 コミュニケーションデザイン 56 オルタナティブ 57 クオリア 58 ソニフィケーション
 - 14 59 フラットデザイン 60 パーソナルファブリケーション 授業まとめ
 - 15 試験

【成績評価方法】

試験50% 課題・小テスト40% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『絵ときデザイン史』 2015/9/17 石川 マサル (著), フレア (著)
『デザインの20世紀 (NHKブックス)』 1992/11 柏木 博 (著)

【教材・教具】

PC 投影モニター レジューメ